



第70回 特別基金講演会 「マリンエンジニアリング業界におけるAI・データ活用」

主 催： 日本マリンエンジニアリング学会

協 賛： 計測自動制御学会、自動車技術会、精密工学会、ターボ機械協会、電気学会、日本エネルギー学会、

(予定) 日本ガスターイン学会、日本機械学会、日本航海学会、日本材料学会、日本船舶海洋工学会、

日本トライボロジー学会、日本内燃機関連合会、陸用内燃機関協会

生成AIやマルチモーダル技術の発展により、知的作業の自動化と高精度な分析が世界規模で急速に進んでいます。同時に、産業・社会インフラへの実装が広がり、最適化・予測・意思決定支援を通じて経済活動と社会システムを大きく変革しています。海運分野に於いてもAI活用は加速的に進んでおり、本年度の特別基金講演会では、海運とAIや製造業のモノづくりDXの課題・対策及び活用事例の紹介、ウェザーニューズ社のAI技術を活用したユースケースについての講演、船舶機関の監視・診断システムによる常時状態把握の現状と今後に関する講演、船舶運航を支えるスマートマネジメントの紹介、運用及び運用技術として欠かせなくなっているサイバーセキュリティについて、最新動向を多面的に取り上げます。AIとデータ活用がもたらすマリンエンジニアリング業界の未来を考える絶好の機会となりますので、ぜひご参加ください。

【開催日時】 令和8年2月27日（金）10:30～16:40（予定）

【開催場所】 新梅田研修センター（大阪市福島区福島6丁目22番20号、TEL: 06-4796-3371）
JR大阪駅から徒歩10分。または直通シャトルバスで5分]

【開催方法】 ハイブリッド方式（会場での講演 & Live配信）

【申込方法】 申込締切日 令和8年2月18日（水） 参加者は、必ず事前登録してください。

JIMEホームページ(<https://www.jime.jp>)から[イベント申込み]→[第70回特別基金講演会「マリンエンジニアリング業界におけるAI・データ活用」]→[参加登録]→[このイベントに参加をしたい場合は、ログインまたは新規会員登録を行ってください]→[ログイン(ID、パスワードを入力)]をクリックし、

- (1) 会員登録済の方は[ログイン(ID、パスワードを入力)]をクリックし、お申し込みください。
- (2) ID、パスワードをお持ちでない方は、最初にイベント会員としてID、パスワードを登録してから、上記(1)の手順でお申し込みください。

【参加登録料】 正会員・協賛学協会会員8,000円、名誉会員・永年会員・シニア会員6,000円、学生会員1,000円、維持会員所属の非会員12,000円、非会員16,000円（消費税含む）

学会の振込口座に振込願います。（予稿集1冊を含む。但し、学生会員には予稿集なし）

【CPDポイント】 会員の方は、会員カードをご持参ください。学習ポイント：10ポイント

プログラム

10:30-10:35	開会挨拶	企画委員会 委員長 石崎 昌幸（阪神内燃機工業）
10:35-11:20	海運とAIの親和性及び活用例	三井物産 昆 大暉 氏
11:20-12:05	製造業のモノづくりDXとは? 課題や対策・AI/DXの活用事例をご紹介	リコージャパン 武田 大輔 氏
12:05-13:20	昼休憩	
13:20-14:05	ウェザーニューズ社のAI技術を活用したユースケース(仮)	ウェザーニューズ 畑村 真一 氏
14:05-14:50	CMAXS LC-Aによる常時状態把握の現状と今後について 工学的知見の構造化による人との協働	三井E&S 藤井 幹 氏
14:50-15:05	休憩	
15:05-15:50	AI・データ・システムで進化する船舶運航のかたち —スマートマネジメントの提案—	ナブテスコ 西村 健太 氏
15:50-16:35	海事分野におけるAI活用を踏まえたサイバーセキュリティ(仮)	日本海事協会 沖本 慎吉 氏
16:35-16:40	閉会挨拶	企画委員会 副委員長 佐々木 秀次（東京海洋大学）

注) 本プログラムは予告無しに変更になることがあります。